

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み	行動計画
地域から築こう ふれ合い支え合う 思いやりある龍田校区	高齢者や障がい者が安心して暮らせるまち	高齢者、障がい児・者に関する事	高齢者の孤立防止、見守り	<ul style="list-style-type: none"> 足腰が弱り閉じこもりがちな高齢者の方が増えている 少子高齢化や核家族化などにより、一人暮らし高齢者が増えてきている 高齢者支援の情報が得にくい 	<ul style="list-style-type: none"> 向こう三軒両隣、近隣住民による声かけ、状況把握、相談しやすい環境づくり 日頃のあいさつ、民生委員の定期的訪問 高齢者に対し公的機関や地域支援者（警察、救急車、消防署、町内会長、民生委員等）の連絡先を分かりやすく周知する 	<ul style="list-style-type: none"> 「福祉ネットワークカード」の作成 校区内の企業と連携した龍田校区ささえあいマップの作成
			高齢者のふれあい、生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい・いきいきサロンの参加者が少ない 高齢者の活動の場が少ない（必要とされる機会が見つけれない） 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい・いきいきサロンを高齢者に広く呼びかけ、健康、運動、ゲーム、出前講座等楽しく参加できる集いを計画する 高齢者が得意とすることを披露する場やボランティアに参加する機会を作る 子ども達とのふれあいの場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を対象としたふれあい昼食会の拡充 ふれあい・いきいきサロンと子育てサロンの交流 子ども食堂のボランティア募集
			認知症高齢者への理解	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者の増加 認知症についての知識不足 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に対する学習会を実施し住民への協力と理解を深める 徘徊者への接し方を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校と連携し小学生を対象とした認知症学習会の開催
			買い物、通院が不便	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障がい児・者の買い物や通院手段の確保が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物、タクシー利用について介護保険適用のサービスを検討 宅配サービスの案内、宅配業者の見守り活用 	<ul style="list-style-type: none"> 地域支え合い型サービスの勉強会を開催
	子ども達をまん中に世代を繋ぐまちづくり	子ども、子育てに関する事	子育て世代の交流が減少	<ul style="list-style-type: none"> 共働きの増加に伴い、子供会の役員が負担となり加入者が減少している 子育て世代の孤立化、引きこもりの子どもを把握しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 親同士の交流が生まれている場を地道に増やし継続する 子ども会は役員のなり手がないため、イベント時のみ自治会や保護者他各種団体が応援する 各町内で取り組んでいる伝承遊び、門松づくり、どんどやを継承する 龍田児童館の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の取り組みを広く周知する 各種団体が主催する校区行事へふれあいの場、イベントについて提案、協力
			世代間交流、居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> 小さい頃から高齢者に関わりを持つ機会が少ない 子ども達だけで安全に遊べる場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者とのふれあいの場づくり 子ども食堂を活用、年代を問わず誰もが利用しやすい環境作り 	<ul style="list-style-type: none"> 巡回型子育てサロンの開催（出前講座） 各町内毎の伝承行事への協力 龍田児童館との連携、協力
			子育て世帯への支援体制	<ul style="list-style-type: none"> 近くに実家がなく頼れない等の不安がある ひとり親世帯への支援情報が得にくい 	<ul style="list-style-type: none"> 各分野専門家の協力と相談しやすい環境づくり 学用品、制服等のリサイクルの仕組み作り 子供と老人会の交流を図る 	<ul style="list-style-type: none"> こんにちは赤ちゃん事業を活用した情報提供
	みんなで守ろう安心・安全なまち	暮らしに関する事	災害時の避難や支援	<ul style="list-style-type: none"> 自治会役員等でなければ誰に支援が必要か分からない 災害時の高齢者や体の不自由な方の避難が不安 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会が中心となった防災訓練の実施 各町内の隣保組ごとに災害時に支援して欲しい人に声かけ等が出来る体制づくり ハザードマップの活用、自分の生活圏への危機意識を認識する 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者避難支援事業の個別避難支援プラン作成 自治会、自主防災クラブ等との連携、協力
			各種団体の連携 地域役員の担い手育成	<ul style="list-style-type: none"> 町内の高齢化が進み、自治会の役員のなり手が見つからない 定年後から65歳くらいの方の地域の各種団体組織及び行事への参加が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 「出来る時に出来るしこ」行事に参加してもらいながら無理強いつけず育成していく 近年高齢化が進み昔ながらの自治会組織では限界があるため、簡素化したり任期を少なくしたり役員の負担軽減を図る 定年退職後、もしくは子育てを卒業した方へ地域役員の依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 自治協議会を中心とし各種団体のあり方、人材育成について協議の場を設ける
			住民同士の繋がりが希薄化、集いの場が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 近隣世帯で日常的に接する機会がない、様々なイベント、町内での交流などほとんどない 長く地域に住んでいる人と、新たに転入してきた人との交流の場がない 高低差がある広い校区のため住民が定期的に集まれる場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 世代間交流ができる、魅力あるイベントの開催 公民館、体育館など公共の場を気軽に活用できるようにする コロナ禍でもできる工夫、ソーシャルディスタンスをとり広い場所でのイベント等の開催 各種団体がそれぞれの広報誌を発行し、回覧で情報を発信する 	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体、町内会の行事を回覧板や自治協ホームページで広報し参加を呼びかける 子ども食堂を活用した世代間交流 校区行事に対する企業の協力を依頼
			ゴミ出し、交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ出しに苦労していたり、ルールを守らない世帯がある 高校生の自転車の乗り方が荒く危険 交通量が多く狭い道でもスピードを出して走る車が多いため登下校が心配 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障がい者へ、ふれあい収集を周知する 校区内に外国人が増えているが、ゴミ出しの標記が日本語のみなので外国語での記載が必要 朝の登校時に高校生の自転車が信号無視をして走るのがあぶないので高校側からにも生徒に指導してもらう 日頃から保護者が近所の方々との交流を大切にすることが登下校時の安心につながる 抜け道として利用されている箇所の把握、スピードが出やすい裏道の把握 各町内の取り組みについて情報把握し良い所は取り入れる 通学時の自宅前での見守りや清掃活動 	<ul style="list-style-type: none"> 社協だよりを活用し困りごと相談窓口を詳しく発信する 龍田まちづくりセンターとの相互連携強化を図る 交番、交通安全協会、防犯協会への情報提供